

平成23年度

12月補正予算案の概要

京 都 府



# 補正予算案の内容

年末・年始の厳しい経済・雇用情勢を乗り切る対策や節電対策、国の3次補正予算に呼応した対策を中心に予算を編成

①年末・年始の対策

②国補正予算に呼応した対策

# ①年末・年始の対策



# 緊急経済・雇用対策

## 年末・年始中小企業等緊急支援事業

20百万円

◆円高等の影響を受けて厳しい状況にある中小企業や商店街が、応援隊のサポートを受け、年末・年始を見据えて行う売上拡大策や販売対策等について積極的に支援

・支援事例

中小企業の首都圏向け展示会、商店街の歳末大売り出し 等

## 年末生活・就労緊急巡回相談事業

1百万円

◆求職中の失業者が安心して年末を迎えられるよう、生活や就労に関する緊急の巡回相談を実施(4回)

\* 職業相談、求人情報の提供、労働条件の相談、生活保護、各種資金貸付に関する相談や情報提供



# 来春の新卒未就職対策

## 新卒未就職者等緊急支援事業

7百万円  
債務負担行為  
153百万円

◆来年の高校、大学新卒者の就職は、依然として厳しい状況にあることから、未就職者を短期雇用しながら、人材育成プログラム、就職マッチングを実施

対象者	高校新卒 50名程度	大学新卒等 60名程度
雇用期間	H24年3月下旬～7月(約4カ月)	H24年3月下旬～7月(約4カ月)
雇用先	京都府高校生緊急就職支援センター	京都未来を担う人づくりサポートセンター
主な 研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業観形成</li> <li>・業界・職種・仕事研究</li> <li>・ビジネスマナー、コミュニケーション</li> <li>・サポーター企業における実践研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識改革、コミュニケーション</li> <li>・ビジネスマナー、グループワーク</li> <li>・サポーター企業における実践研修</li> </ul>
本事業の 就職実績	就職率 H22 92% H23 95%	就職率 H22 97% H23 100%



# 冬の節電対策

## 府庁節電対策

8百万円

◆節電の率行的行動に加え、電力需給ひっ迫時の対策として、非常用自家発電装置の稼働を準備

電力状況に応じて12%から最大24%まで節電可能

## 要配慮者への支援

1百万円

◆在宅で人工呼吸器等を使用されている方のための相談窓口の設置や、医療機関への円滑な受入が可能となるよう事前登録を実施

# ②国補正予算に 呼応した対策



# 国3次補正予算関連

## 防災基盤整備推進事業

1,525百万円

◆道路、河川等の防災・減災対策につながる基盤整備の追加(国3次補正関連)

\* 緊急輸送道路の整備、河川堤防の耐震補強等

## 基金の積み立て

◆高等学校修学等支援基金

1,674百万円

◆自殺対策基金

70百万円

◆緊急雇用対策基金

3,440百万円

◆地球温暖化対策等推進基金

1,500百万円



その他



# 拠点港選定を踏まえた舞鶴港の振興

## 京都舞鶴港機能強化事業

69百万円  
〔うち66百万円は  
港湾事業特別会計〕

◆ 大口貨物の集荷対策の強化など、国際航路の拡充  
に向けた整備・支援

- \* コンテナトライアル補助金の加算
- \* 舞鶴国際ふ頭の荷さばきヤード拡充





# 地域医療の充実

## 府南部ドクターヘリ導入準備事業

2百万円

◆府南部地域における来年度運航に向け、着陸地点の候補地選定等を実施

\* 関西広域連合に移管される大阪府ドクターヘリを活用

## 地域医療再生臨時特例基金の積立 (国22年11月補正)

◆三次医療圏の医療体制(救急、がん、リハビリテーション)の充実に活用

2,939百万円



# 被災地への支援

## 東日本大震災復興支援金

21百万円  
〔債務負担行為〕  
29百万円

◆多くの被災者が多大な苦難を強いられている状況に鑑み、生活や産業の再建など、被災地の円滑な復興を支援

\*「京都府議会による東日本大震災からの復興支援に関する条例」の制定を踏まえた対応



# 補正予算の規模

一般会計 11,191百万円

(うち基金積立金 9,623百万円)

12月補正後予算額 929,090百万円

【 参 考 : 22年11月補正後 910,501百万円 】

特別会計 66百万円